

## 6 不破郡垂井町立東小学校

学 校 名	垂井町立東小学校
活動の種類・単位	福祉活動を全校児童が取り組んだ。
教育課程上の位置付け	総合的な学習の時間

### 1 活動テーマ

地域とともに歩む子の育成

### 2 主な活動内容

#### ① 子ども園との交流

校区にある「東子ども園」の5歳児を対象に全校が学年ごとに、1回ずつ交流を行った。



▲ 子ども園交流(6年)

#### ② 特別支援学級との交流

特別支援学級(知的障がい, 自閉症・情緒障がい)の児童が育てた野菜を使った「夏野菜パーティー」と「おもいパーティー」を1年～4年の各学級と一緒にやった。

#### ③ 特別支援学校在籍児童の居住地校交流及び4校交流

大垣特別支援学校在籍児童2名が年間を通して、知的特別支援学級児童と交流を行ったり、該当学年児童との交流を行ったりした。

岐阜・西濃地区の難聴学級が設置されている4校の児童が手紙のやり取りをしたり直接会ったりして交流した。また、難聴の先輩の話聞く会に参加する予定。

#### ④ 障がいのある方やボランティア活動をして見える方との交流

6年児童が、総合的な学習の一環として、毎月第4火曜日に垂井町内にある障がい者施設「あゆみの家」の活動に協力するためにアルミ缶回収を行った。



▲ 秋田啓氏 車いす実演

PTA主催の福祉講演会として、車いすバスケット全日本代表 秋田啓氏の話、全校児童及びPTAの希望者とともに聞いた。

手話・点字クラブの児童が、垂井町内に住む聴覚障がい者から、簡単な手話や聴覚障害者の生活について話を聞いた。また、垂井町内にある点字サークル「虹の会」の方を講師に招いて、点字のうしかたを教えていただいた。

#### ⑤ 地域行事への参加

東地区まちづくりセンター主催のチャレンジ教室への児童の参加を促す。特に、「軽スポーツ」「松阪踊り(地域の夏祭りに踊るための練習)」「さわやかウォーキング」については、土曜日授業として、学校の授業の一環として行った。

垂井町青年クラブ主催の美濃路の松の害虫駆除のために行う「こも巻き」「こもはずし」に、6年児童が参加した。

#### 子供たちに付いた力

子ども園交流を通して、幼児のことを思った話し方や活動内容を考えることで、相手のことを考える力や思いやる心が育った。

障がいのある方と直接かかわることで、障がいに対する理解が深まった。特に、同じ学校内にある特別支援学級在籍児童への理解が深まり、日常的に良い関係を築くことができた。

#### 効果

キックオフの会のときに、赤十字社について話をしたことで、今年度は全校で福祉について取り組んでいくという意欲が高まった。

#### 今後の方向

子ども園との交流については、児童の思いやりの心をはぐくむ大切な活動であり、子ども園児にとっても有意義であるため、継続していく。

校内の特別支援学級や他校(特別支援学校・難聴学級)との交流など児童同士の交流についても継続していき、さらにお互いの理解を深めていく。